



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月9日

上場会社名 住友軽金属工業株式会社
 コード番号 5738 URL <http://www.sumitomo-LM.co.jp>
 代表者 (役職名) 社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト向け)

(氏名) 山内重徳
 (氏名) 坂上 淳

TEL 03-3436-9771

上場取引所 東 大

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|---------|------|-------|------|-------|------|--------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 24年3月期第2四半期 | 134,794 | 3.3 | 8,297 | △3.1 | 7,093 | 10.4 | 5,610 | 39.7 |
| 23年3月期第2四半期 | 130,496 | 16.3 | 8,566 | — | 6,426 | — | 4,015 | — |

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 5,772百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △137百万円 (—%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年3月期第2四半期 | 10.61 | 10.61 |
| 23年3月期第2四半期 | 9.29 | 9.29 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|---------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 24年3月期第2四半期 | 322,784 | 52,204 | 15.9 |
| 23年3月期 | 306,649 | 35,267 | 11.3 |

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 51,230百万円 23年3月期 34,559百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年3月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 24年3月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 24年3月期(予想) | — | — | — | — | — |

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成24年3月期の期末配当予想額につきましては、個別決算において繰越損失を解消できる見込みではありますが、先行きが依然不透明であることから、平成23年5月13日に公表している予想から変更はなく、「未定」といたします。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|---------|------|--------|------|--------|-----|--------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 255,000 | △1.7 | 14,700 | △5.7 | 12,500 | 9.0 | 11,000 | 53.0 | 19.82 |

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|----------|---------------|----------|---------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 24年3月期2Q | 581,538,867 株 | 23年3月期 | 432,038,867 株 |
| ② 期末自己株式数 | 24年3月期2Q | 48,497 株 | 23年3月期 | 45,315 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 24年3月期2Q | 528,408,343 株 | 23年3月期2Q | 432,002,357 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(参考)個別業績予想

平成24年3月期の個別業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----|---------|-------|-------|------|-------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通 期 | 174,000 | △10.1 | 8,300 | △0.2 | 9,400 | 48.0 | 16.93 |

(注)直近に公表されている個別業績予想からの修正の有無 : 無

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 3 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 3 |
| 2. サマリー情報（その他）に関する事項 | 3 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 3 |
| (2) 連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 継続企業の前提に関する注記 | 8 |
| (4) セグメント情報等 | 8 |
| (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 9 |
| (6) 重要な後発事象 | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、東日本大震災の影響により急激に落ち込んだ企業の生産活動がほぼ震災前の水準まで回復しつつあり、設備投資需要及び個人消費もまた持ち直しの傾向で推移するなど、緩やかな回復基調を辿りました。しかしながら、原発問題の長期化や、昨年来高騰している円の史上最高値更新、欧米諸国の財政不安による世界的な景気後退への懸念など、経済的・社会的環境は依然として不安定な状況が続いております。

こうした状況の下、当第2四半期連結累計期間の当社グループの業績につきましては、自動車用やIT関連の販売量が前年同期に比べて低い水準に留まったものの、アルミ缶材や空調用銅管が堅調に推移したこと等により、売上高は134,794百万円（前年同期比3.3%増）と、ほぼ前年同期並となりました。

損益面におきましては、販売量の減少やエネルギー価格の上昇による影響があったことから、営業利益は8,297百万円（同3.1%減）と、前年同期をやや下回りましたが、経常利益については、営業外収益が増加したことにより、7,093百万円（同10.4%増）と、前年同期を上回りました。四半期純利益につきましては、株価の大幅な下落による投資有価証券評価損（詳細は、平成23年10月7日公表の「投資有価証券評価損に関するお知らせ」をご参照下さい。）の計上等がありましたものの、保有株式の売却を進めたことによる投資有価証券売却益等の特別利益を計上したことにより、5,610百万円（同39.7%増）となり、資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額1,156百万円を特別損失に計上した前年同期から大幅に好転いたしました。

セグメント別の状況については、以下のとおりであります。

アルミ圧延品部門

主力分野である飲料缶向けが堅調に推移したものの、自動車用やIT関連の需要が震災の影響により大幅に落ち込んだため、全体の販売量は前年同期をやや下回る水準に留まりました。その結果、当第2四半期連結累計期間のアルミ圧延品部門の売上高は87,261百万円（前年同期比2.1%減）、営業利益は8,742百万円（同14.2%減）となりました。

伸銅品部門

当部門の主力である空調用銅管が、節電意識の高まりによる省エネエアコン向け需要の増加等により好調に推移したことなどから、販売量が前年同期を上回ったため、当第2四半期連結累計期間の伸銅品部門の売上高は26,579百万円（同21.4%増）、営業利益は958百万円（同1,261.8%増）となりました。

加工品・関連事業部門

当部門の主力である工業製品及び建材製品の受注拡大に努め、また需要も建築関連を中心に前年同期と比較して上向きであった結果、当第2四半期連結累計期間の加工品・関連事業部門の売上高は20,954百万円（同7.4%増）、営業利益は241百万円（前年同期は営業損失117百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、平成23年6月7日を払込期日とする公募増資（一般募集）及び平成23年7月6日を払込期日とする第三者割当増資による資金調達の実施や、四半期純利益の計上により、前連結会計年度末に比べて16,936百万円増加し、52,204百万円となりました。この結果、自己資本比率は11.3%から15.9%へ改善いたしました。

本増資は、今後拡大する世界飲料缶市場に対するグローバル供給体制構築のため、5社共同出資による持株会社 Arrow Aluminum Holding Inc.を通じて米国アルミニウム板圧延品製造販売会社ARCO Aluminum Inc.の全株式を取得するにあたり、当社出資分の資金調達に関して様々な方法を検討した結果、資金の使途である株式取得が当社グループの成長戦略投資であること、また、財務基盤の確立・強化が当社グループの今後の企業価値及び株主価値向上に資するものと考えたことから、実施したものであります。

ARCO Aluminum Inc.の株式取得については、平成23年8月1日付で予定通り取得を完了いたしました。なお、ARCO Aluminum Inc.はTri-Arrows Aluminum Inc.に、Arrow Aluminum Holding Inc.はTri-Arrows Aluminum Holding Inc.に、それぞれ社名を変更しております。

総資産については、上記増資資金による株式取得を実施したことを主因に、前連結会計年度末に比べて16,135百万円増加し、322,784百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の業績は堅調でしたが、通期の見通しにつきましては、タイで発生した大規模洪水による被害の影響をはじめ、冬場の電力不足や円の高止まりによる国内企業活動への影響、欧米諸国の財政問題の深刻化による世界経済の悪化懸念の高まりといった先行きの不透明感を抱えており、厳しい状況が見込まれることから、平成23年5月13日に公表いたしました予想値を据え置くことといたします。

また、期末配当予想額につきましても、個別決算において繰越損失を解消する見込みではありますが、上記の通り、先行きが依然不透明であることから、平成23年5月13日に公表している予想から変更はなく、「未定」といたします。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更

①連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、株式会社SKコーポレーションの株式を新たに取得したため、同社の子会社である株式会社SKスリッピング及びSK Corporation Americaとともに、連結の範囲に含めております。

②持分法適用の範囲の重要な変更

当第2四半期連結会計期間より、Tri-Arrows Aluminum Holding Inc.（旧名称：Arrow Aluminum Holding Inc.）を通じてTri-Arrows Aluminum Inc.（旧名称：ARCO Aluminum Inc.）の株式を新たに取得し関連会社となったため、それぞれ持分法適用の範囲に含めております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 8,114 | 6,501 |
| 受取手形及び売掛金 | 39,546 | 41,509 |
| 商品及び製品 | 13,786 | 14,749 |
| 仕掛品 | 16,158 | 17,474 |
| 原材料及び貯蔵品 | 6,791 | 7,708 |
| その他 | 8,157 | 10,906 |
| 貸倒引当金 | △49 | △52 |
| 流動資産合計 | 92,504 | 98,796 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 25,128 | 25,699 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 15,010 | 14,045 |
| 土地 | 96,167 | 96,113 |
| その他（純額） | 18,366 | 17,204 |
| 有形固定資産合計 | 154,673 | 153,063 |
| 無形固定資産 | 713 | 802 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 40,702 | 51,362 |
| その他 | 18,469 | 19,193 |
| 貸倒引当金 | △414 | △434 |
| 投資その他の資産合計 | 58,757 | 70,121 |
| 固定資産合計 | 214,144 | 223,987 |
| 資産合計 | 306,649 | 322,784 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日) |
|------------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 59,938 | 65,498 |
| 1年内償還予定の新株予約権付社債 | 5 | — |
| 短期借入金 | 73,426 | 83,812 |
| コマーシャル・ペーパー | — | 2,999 |
| 未払法人税等 | 1,497 | 771 |
| 賞与引当金 | 375 | 393 |
| 事業再編損失引当金 | 955 | 17 |
| その他 | 13,621 | 13,432 |
| 流動負債合計 | 149,819 | 166,925 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 91,745 | 73,219 |
| 退職給付引当金 | 5,569 | 5,985 |
| 負ののれん | 482 | 383 |
| その他 | 23,764 | 24,066 |
| 固定負債合計 | 121,562 | 103,654 |
| 負債合計 | 271,381 | 270,580 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 22,966 | 28,459 |
| 資本剰余金 | 3,260 | 5,492 |
| 利益剰余金 | 12,768 | 21,635 |
| 自己株式 | △4 | △5 |
| 株主資本合計 | 38,989 | 55,581 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 288 | 283 |
| 繰延ヘッジ損益 | △60 | △1,014 |
| 土地再評価差額金 | 9,664 | 9,664 |
| 為替換算調整勘定 | △14,322 | △13,285 |
| その他の包括利益累計額合計 | △4,430 | △4,351 |
| 少数株主持分 | 708 | 974 |
| 純資産合計 | 35,267 | 52,204 |
| 負債純資産合計 | 306,649 | 322,784 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) |
|---------------------|---|---|
| 売上高 | 130,496 | 134,794 |
| 売上原価 | 111,167 | 115,703 |
| 売上総利益 | 19,328 | 19,090 |
| 販売費及び一般管理費 | 10,762 | 10,793 |
| 営業利益 | 8,566 | 8,297 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 119 | 208 |
| 受取配当金 | 94 | 72 |
| 工事負担金受入額 | 248 | 821 |
| その他 | 453 | 446 |
| 営業外収益合計 | 915 | 1,548 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 2,192 | 1,907 |
| その他 | 863 | 844 |
| 営業外費用合計 | 3,055 | 2,752 |
| 経常利益 | 6,426 | 7,093 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | 36 | 822 |
| 負ののれん発生益 | — | 134 |
| その他 | 67 | 10 |
| 特別利益合計 | 103 | 968 |
| 特別損失 | | |
| 投資有価証券評価損 | 197 | 1,173 |
| 固定資産除売却損 | 166 | 141 |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | 1,156 | — |
| その他 | 422 | 235 |
| 特別損失合計 | 1,943 | 1,550 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 4,587 | 6,510 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 943 | 797 |
| 法人税等調整額 | △400 | 58 |
| 法人税等合計 | 543 | 855 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 4,044 | 5,655 |
| 少数株主利益 | 28 | 45 |
| 四半期純利益 | 4,015 | 5,610 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 4,044 | 5,655 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △485 | △5 |
| 繰延ヘッジ損益 | △13 | △907 |
| 為替換算調整勘定 | △3,682 | 1,788 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | — | △759 |
| その他の包括利益合計 | △4,181 | 116 |
| 四半期包括利益 | △137 | 5,772 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △93 | 5,689 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | △44 | 82 |

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注)1 | 四半期連結損益 計算書計上額 (注)2 |
|--------------------|--------------|--------|----------------|---------|-------------|---------------------------|
| | アルミ圧延品 部門 | 伸銅品部門 | 加工品・関連 事業部門 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 89,104 | 21,890 | 19,502 | 130,496 | — | 130,496 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 1,867 | 454 | 696 | 3,018 | △3,018 | — |
| 計 | 90,971 | 22,344 | 20,199 | 133,514 | △3,018 | 130,496 |
| セグメント利益又は損失 (△) | 10,194 | 70 | △117 | 10,147 | △1,581 | 8,566 |

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額△1,581百万円には、たな卸資産の調整額△6百万円、セグメント間取引消去167百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,741百万円が含まれております。

全社費用は、報告セグメントに帰属しない親会社の一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注)1 | 四半期連結損益 計算書計上額 (注)2 |
|-------------------|--------------|--------|----------------|---------|-------------|---------------------------|
| | アルミ圧延品 部門 | 伸銅品部門 | 加工品・関連 事業部門 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 87,261 | 26,579 | 20,954 | 134,794 | — | 134,794 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 1,299 | 792 | 536 | 2,628 | △2,628 | — |
| 計 | 88,561 | 27,371 | 21,490 | 137,422 | △2,628 | 134,794 |
| セグメント利益 | 8,742 | 958 | 241 | 9,943 | △1,645 | 8,297 |

(注)1. セグメント利益の調整額△1,645百万円には、たな卸資産の調整額△3百万円、セグメント間取引消去176百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,818百万円が含まれております。

全社費用は、報告セグメントに帰属しない親会社の一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成23年6月7日を払込期日とする公募増資（一般募集）及び平成23年7月6日を払込期日とする第三者割当増資を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において資本金が5,492百万円、資本剰余金が5,492百万円増加しております。

また、平成23年6月29日開催の定時株主総会において、準備金の額の減少及び剰余金の処分について決議されたことから、資本剰余金3,260百万円を繰越利益剰余金の欠損填補に充当しております。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間末において、資本金が28,459百万円、資本剰余金が5,492百万円となっております。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。

平成23年度上期(第2四半期累計期間)の業績概況

(1) 連結決算

① 損益

(単位:億円)

| 区 分 | 平成22年度上期 | 平成23年度上期 | 増減 | 増減率 |
|-----------|----------|----------|-----|--------|
| 売 上 高 | 1,305 | 1,348 | 43 | 3.3% |
| 営 業 利 益 | 86 | 83 | △ 3 | △ 3.1% |
| 経 常 利 益 | 64 | 71 | 7 | 10.4% |
| 当 期 純 利 益 | 40 | 56 | 16 | 39.7% |
| 設 備 投 資 | 24 | 30 | 6 | |
| 減 価 償 却 費 | 47 | 45 | △ 2 | |

② セグメント別売上高・営業利益

| | | 平成22年度 上期 | 平成23年度 上期 | 増減 | 増減率 |
|----------|---------|--------------|--------------|------|---------|
| アルミ圧延品 | 売 上 高 | 891 | 873 | △ 18 | △ 2.1% |
| | 営 業 利 益 | 102 | 87 | △ 15 | △ 14.2% |
| 伸 銅 品 | 売 上 高 | 219 | 266 | 47 | 21.4% |
| | 営 業 利 益 | 1 | 10 | 9 | 1261.8% |
| 加工品・関連事業 | 売 上 高 | 195 | 209 | 14 | 7.4% |
| | 営 業 利 益 | △ 1 | 2 | 3 | — |
| 調 整 額 | 売 上 高 | — | — | — | — |
| | 営 業 利 益 | △ 16 | △ 16 | △ 0 | — |
| 合 計 | 売 上 高 | 1,305 | 1,348 | 43 | 3.3% |
| | 営 業 利 益 | 86 | 83 | △ 3 | △ 3.1% |

(2) 個別決算

① 損益

(単位:億円)

| 区 分 | 平成22年度上期 | 平成23年度上期 | 増減 | 増減率 |
|-----------|----------|----------|-----|--------|
| 売 上 高 | 989 | 993 | 4 | 0.4% |
| 営 業 利 益 | 65 | 65 | △ 0 | △ 1.3% |
| 経 常 利 益 | 55 | 62 | 7 | 12.9% |
| 当 期 純 利 益 | 46 | 63 | 17 | 36.1% |
| 設 備 投 資 | 15 | 21 | 6 | |
| 減 価 償 却 費 | 36 | 33 | △ 3 | |

② 品種別売上高

| 区 分 | 平成22年度上期 | | 平成23年度上期 | | 増減 | |
|----------|----------|-----|----------|-----|-----|------|
| | 数量 | 金額 | 数量 | 金額 | 数量 | 金額 |
| | 千トン | 億円 | 千トン | 億円 | 千トン | 億円 |
| アルミ板 | 173 | 649 | 170 | 640 | △ 3 | △ 9 |
| その他 | — | 136 | — | 111 | — | △ 25 |
| アルミ圧延品部門 | — | 785 | — | 751 | — | △ 34 |
| 伸銅品部門 | 23 | 204 | 24 | 242 | 1 | 38 |
| 合 計 | — | 989 | — | 993 | — | 4 |

通期の業績見通し

(1) 連結

① 損益

(単位: 億円)

| 区 分 | 平成22年度 | 平成23年度 | 増減 | 増減率 |
|-----------|--------|--------|------|--------|
| 売 上 高 | 2,595 | 2,550 | △ 45 | △ 1.7% |
| 営 業 利 益 | 156 | 147 | △ 9 | △ 5.7% |
| 経 常 利 益 | 115 | 125 | 10 | 9.0% |
| 当 期 純 利 益 | 72 | 110 | 38 | 53.0% |

| | | | |
|-----------|----|----|-----|
| 設 備 投 資 | 46 | 54 | 8 |
| 減 価 償 却 費 | 95 | 93 | △ 2 |

② セグメント別売上高・営業利益

| | | 平成22年度 | 平成23年度 | 増減 | 増減率 |
|----------|---------|--------|--------|------|---------|
| アルミ圧延品 | 売 上 高 | 1,744 | 1,687 | △ 57 | △ 3.2% |
| | 営 業 利 益 | 177 | 156 | △ 21 | △ 12.0% |
| 伸 銅 品 | 売 上 高 | 450 | 466 | 16 | 3.5% |
| | 営 業 利 益 | 3 | 12 | 9 | 265.3% |
| 加工品・関連事業 | 売 上 高 | 401 | 397 | △ 4 | △ 1.0% |
| | 営 業 利 益 | 5 | 10 | 5 | 103.4% |
| 調 整 額 | 売 上 高 | — | — | — | — |
| | 営 業 利 益 | △ 29 | △ 31 | △ 2 | — |
| 合 計 | 売 上 高 | 2,595 | 2,550 | △ 45 | △ 1.7% |
| | 営 業 利 益 | 156 | 147 | △ 9 | △ 5.7% |

(2) 個別

(単位: 億円)

| 区 分 | 平成22年度 | 平成23年度 | 増減 | 増減率 |
|-----------|--------|--------|-------|---------|
| 売 上 高 | 1,936 | 1,740 | △ 196 | △ 10.1% |
| 営 業 利 益 | 113 | 96 | △ 17 | △ 15.4% |
| 経 常 利 益 | 83 | 83 | △ 0 | △ 0.2% |
| 当 期 純 利 益 | 64 | 94 | 30 | 48.0% |

| | | | |
|-----------|----|----|------|
| 設 備 投 資 | 27 | 33 | 6 |
| 減 価 償 却 費 | 73 | 62 | △ 11 |

本資料に記載されている業績見通しに関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。